

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けIR電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	50,949	18.5	4,057	24.8	4,062	18.5	2,421	△20.4
2024年3月期第1四半期	42,994	6.9	3,250	29.5	3,427	32.9	3,042	△59.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,342百万円(△29.2%) 2024年3月期第1四半期 3,310百万円(△64.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	22.94	—
2024年3月期第1四半期	28.58	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	479,703	134,832	26.8
2024年3月期	468,565	135,607	27.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 128,684百万円 2024年3月期 129,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	29.00	54.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	99,400	11.2	7,500	△3.6	7,400	△7.1	4,600	△24.4	43.57
通期	233,200	15.6	22,000	4.2	22,500	3.2	15,900	0.0	150.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	108,520,799株	2024年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,943,459株	2024年3月期	2,950,763株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	105,573,093株	2024年3月期1Q	106,451,253株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①当第1四半期連結累計期間の概況

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	42,994百万円	50,949百万円	+18.5%
営業利益	3,250百万円	4,057百万円	+24.8%
経常利益	3,427百万円	4,062百万円	+18.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,042百万円	2,421百万円	△20.4%

(参考) 評価 営業利益	6,074百万円	6,475百万円	+6.6%
--------------	----------	----------	-------

[前年同期比]

前年同期(2023年4月～6月)には、会員権事業において、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月に販売開始した「サンクチュアリコート日光」を中心に、ホテル会員権の販売が好調でありましたが、当期間(2024年4月～6月)では、サンクチュアリコートシリーズに加えて、ベイコートシリーズなど既存ホテル会員権販売も加わり、前年を上回る契約実績であったこと、メディカル事業において、メディカル会員権の販売が前年を上回り、引き続き好調に推移し、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がりりが収益へ貢献したことなどにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人員増等に伴う人件費の増加、ホテルの修繕維持費の増加などによるコストアップを吸収し、リゾートトラストグループ全体として、経常利益までは「増収増益」となりましたが、当期間に開発用地取得に関わる「のれん」の減損を含む減損損失(約17億円)があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は「減益」となっております。また、不動産収益の繰延影響等を除いた実力値を示す「評価営業利益」は、会員権の販売好調により大きく進展しております。

(参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表します。なお、加えて、メディカル会員権などの収益認識基準の影響も考慮し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。)

[全体概況]

当第1四半期連結累計期間における、わが国経済は、持続的な賃上げによる雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しておりますが、海外の様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクとして想定され、先行きは不透明であります。

このような環境下で、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ベースアップや事業拡大に備えた採用強化を実施しました。これらの増加コストは、一部の商品(会員権)の価格を見直すことや、今後(2025年1月～)ホテルレストラン事業における年会費(運営管理費)の値上げ等により賄ってまいります。第1四半期においても、ホテル・メディカルの会員募集の好調が継続しており、会員数の増加や2024年3月に開業した「サンクチュアリコート高山」の稼働が増収に寄与したほか、2024年4月にも一部会員権の値上げを実施しております。

この結果として、売上高は50,949百万円(前年同期比18.5%増)、営業利益は4,057百万円(前年同期比24.8%増)、経常利益は4,062百万円(前年同期比18.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,421百万円(前年同期比20.4%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	9,232百万円	14,182百万円	+53.6%
セグメント利益	2,399百万円	4,388百万円	+82.9%

会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移したことに加え、既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まったことなどにより、増収増益となりました。2024年4月からは一部会員権の価格を見直し、開発原価、建築コストの上昇やベア等人件費増加に対応してまいります。

【ホテルレストラン等事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	22,224百万円	24,231百万円	+9.0%
セグメント利益	1,363百万円	43百万円	△96.8%

ホテルレストラン等事業におきましては、2024年3月に「サンクチュアリコート高山」が開業し、増収に貢献しましたが、昨年に引き続き、ベースアップや人事施策の実行、今後のホテル開業に備えた人材採用と育成への投資に加え、ホテルのメンテナンス費用を前倒しで実施していることなどにより、増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	11,362百万円	12,360百万円	+8.8%
セグメント利益	1,523百万円	1,811百万円	+19.0%

メディカル事業におきましては、健診施設の一部を新しいビルへ移転する費用など一時的なコストが発生しましたが、昨年に引き続き、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権募集が好調に推移し、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことなどにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	174百万円	174百万円	+0.2%
セグメント利益	101百万円	115百万円	+14.0%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は479,703百万円(前連結会計年度比2.4%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、ホテル開発に伴い、仕掛販売用不動産が5,607百万円、建設仮勘定が2,750百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は344,870百万円(前連結会計年度比3.6%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が11,907百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は134,832百万円（前連結会計年度比0.6%の減少）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、配当金の支払等により利益剰余金が668百万円減少したことなどによるものであります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は26.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる数値となる可能性があります。

2024年5月15日に開示した業績予想は以下の通りです。

2025年3月期 通期連結業績予想数値（2024年4月1日～2025年3月31日）

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	201,803百万円	233,200百万円	+15.6%
営業利益	21,119百万円	22,000百万円	+4.2%
経常利益	21,807百万円	22,500百万円	+3.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	15,892百万円	15,900百万円	+0.0%
評価 営業利益	23,899百万円	22,300百万円	△6.7%

わが国における今後の経済情勢につきましては、持続的な賃上げによる雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、景気の緩やかな回復が期待されていますが、海外の様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクとして想定されております。

このような状況下で、当社グループは、「2023年4月～2028年3月までの中期5ヵ年経営計画」の2年目として、戦略を実行し、グループのアイデンティティである「一緒にしますいい人生～より豊かでしあわせな時間を創造します～」の実践を通じた、「真のグループ経営」を実現してまいります。

通期業績の見通しについては、会員権事業において、2024年10月に会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート琵琶湖」が開業を迎えることで、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されること、また、ホテルレストラン等事業、メディカル事業において、会員数の増加、単価の上昇等により運営収益が拡大することに加え、ベースアップ含む賃金の上昇を継続し、更なる生産性向上を目指した好循環を産み出すことなどから、当社グループ全体として売上高 233,200百万円（前年同期比 15.6%増）、営業利益 22,000百万円（同 4.2%増）、経常利益 22,500百万円（同 3.2%増）と過去最高の売上高と営業利益、経常利益を更新し、増収増益を見込んでおります。また、当期においても債券の償還益など特別利益が見込まれるため、親会社株主に帰属する当期純利益は、15,900百万円（同 0.0%増）と増益を見込んでおります。

なお、配当金の予想については、前年は普通配当50円、記念配当4円で年間配当金の合計は54円でありましたが、普通配当金を4円増配することで、前年同期に比べ実質4円増配の年間配当金54円（予想）と、過去最高水準の配当金額となる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,752	29,604
受取手形、売掛金及び契約資産	11,314	10,789
割賦売掛金	77,978	81,530
営業貸付金	22,608	20,379
有価証券	8,758	6,795
商品	1,156	1,350
販売用不動産	5,388	5,799
原材料及び貯蔵品	1,788	1,749
仕掛販売用不動産	30,110	35,718
リース投資資産	3,762	3,622
その他	6,872	9,869
貸倒引当金	△966	△986
流動資産合計	200,525	206,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	100,027	100,380
機械装置及び運搬具（純額）	2,657	2,821
コース勘定	7,642	7,712
土地	48,376	48,726
リース資産（純額）	1,706	2,362
使用権資産	11,589	12,317
建設仮勘定	15,576	18,327
その他（純額）	4,811	4,297
有形固定資産合計	192,389	196,945
無形固定資産		
のれん	842	736
ソフトウェア	2,470	2,411
その他	2,833	3,226
無形固定資産合計	6,146	6,374
投資その他の資産		
投資有価証券	22,727	22,384
関係会社株式	1,339	1,344
長期貸付金	4,367	4,321
退職給付に係る資産	723	706
繰延税金資産	18,594	18,758
その他	22,175	23,067
貸倒引当金	△422	△421
投資その他の資産合計	69,504	70,161
固定資産合計	268,040	273,481
資産合計	468,565	479,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,787	1,509
短期借入金	1,650	13,708
1年内返済予定の長期借入金	8,755	518
リース債務	1,451	1,487
未払金	21,534	13,776
未払法人税等	4,595	1,985
未払消費税等	1,044	2,330
前受金	110,219	122,127
前受収益	15,116	16,310
債務保証損失引当金	31	28
ポイント引当金	487	432
その他	11,272	13,843
流動負債合計	177,946	188,058
固定負債		
長期借入金	2,172	2,042
リース債務	20,535	21,903
繰延税金負債	136	142
株式給付引当金	785	986
退職給付に係る負債	3,054	3,151
長期預り保証金	29,109	30,555
償却型長期預り保証金	94,048	92,709
その他	5,169	5,321
固定負債合計	155,011	156,812
負債合計	332,957	344,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,610	21,729
利益剰余金	84,193	83,525
自己株式	△5,483	△5,475
株主資本合計	119,911	119,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,892	3,692
為替換算調整勘定	3,916	5,011
退職給付に係る調整累計額	652	610
その他の包括利益累計額合計	9,460	9,314
非支配株主持分	6,235	6,148
純資産合計	135,607	134,832
負債純資産合計	468,565	479,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	42,994	50,949
売上原価	4,630	6,957
売上総利益	38,364	43,991
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	13,539	15,956
修繕維持費	1,091	1,558
貸倒引当金繰入額	27	24
水道光熱費	1,780	1,732
減価償却費	1,979	2,065
その他	16,696	18,597
販売費及び一般管理費合計	35,114	39,934
営業利益	3,250	4,057
営業外収益		
受取利息	243	187
受取配当金	4	2
持分法による投資利益	3	5
貸倒引当金戻入額	31	3
債務保証損失引当金戻入額	1	2
為替差益	0	2
助成金収入	52	33
その他	105	62
営業外収益合計	443	299
営業外費用		
支払利息及び社債利息	67	65
シンジケートローン手数料	14	13
控除対象外消費税等	118	146
その他	65	69
営業外費用合計	266	294
経常利益	3,427	4,062

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	-	20
投資有価証券売却益	-	2,124
有価証券償還益	1,478	213
特別利益合計	1,478	2,358
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産除却損	1	9
減損損失	-	1,799
その他	-	3
特別損失合計	1	1,814
税金等調整前四半期純利益	4,904	4,606
法人税、住民税及び事業税	579	1,729
法人税等調整額	1,211	389
法人税等合計	1,790	2,118
四半期純利益	3,113	2,487
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,042	2,421

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,113	2,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206	△1,199
為替換算調整勘定	0	1,095
退職給付に係る調整額	△10	△41
その他の包括利益合計	196	△145
四半期包括利益	3,310	2,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,238	2,276
非支配株主に係る四半期包括利益	71	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレス トラン等事 業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,232	22,224	11,362	42,820	174	42,994
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9	982	110	1,101	354	1,456
計	9,242	23,207	11,473	43,922	529	44,451
セグメント利益	2,399	1,363	1,523	5,286	101	5,387

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,286
「その他」の区分の利益	101
全社費用(注)	△2,137
四半期連結損益計算書の営業利益	3,250

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト トラン等事 業	メデイカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,182	24,231	12,360	50,774	174	50,949
セグメント間の 内部売上高又は振替高	△41	1,121	126	1,206	388	1,595
計	14,140	25,352	12,487	51,981	563	52,544
セグメント利益	4,388	43	1,811	6,243	115	6,359

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,243
「その他」の区分の利益	115
全社費用 (注)	△2,302
四半期連結損益計算書の営業利益	4,057

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	2,160百万円	2,274百万円
のれんの償却額	105百万円	105百万円